

授業 科目名	【G】	特殊講義(行政学Ⅰ)	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2	
	【H】	専門講義(行政学Ⅰ)			【H】3		【H】2	
	【I】	専門講義(行政学Ⅰ)			【I】3		【I】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	行政学の基礎を学ぶ				担当者	園田 康博		
授業概要	【概要】	本講義は、主に国(中央政府)の行政を扱う。私たちの暮らしの中に密接に関わりのある行政の様々な活動や政策について、その基礎的な知識や概念、考え方を学ぶ講義である。講義の中で、具体的な事件や身近な話題、ニュースなどを題材として取り上げ、今現在、内閣や行政機関が直面する課題などについて考察する。						
	【到達目標】	受講生は講義を通じて次の目標を達成することが期待される。 1. 行政(学)に関する基本的な知識を身につけ、行政学の知識と概念が理解できるようになる。 2. 行政が直面する課題について関心を持つようになる。 3. その課題について自ら調べ、考察し、自分なりの解決策を提示できるようになる。						
履修条件	将来公務員(国家公務員、自治体職員、警察官、消防士等)を目指す学生はもちろん、官僚や内閣、公務員はどのような仕事をしているのかなど、より深く学ぶ意欲のある学生の履修を望む。							
アクティブ ラーニングの 方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	本講義は主に国(中央政府)の行政を扱う。都道府県や市町村の行政について知りたい者は「特殊講義(行政学Ⅱ)」も受講することが望ましい。両者は同時に受講することが望ましいが、両講義の内容はそれぞれ独立しており、単独受講でも内容の理解に問題はない。							
教科書	特になし。授業の講義レジュメ(PDF版)については、事前にClassroom等で配布する。また、必要に応じて資料等を配布する。							
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。							
評価方法	授業数回ごとの頻度で実施する小テストや課題レポートの結果、授業への参加状況(40%)、学習到達度確認テスト(60%)の合計で評価する。							
フィードバック 方法	授業内の小テスト、課題レポート、学習到達度確認テストなどの解説は原則として授業内で行う。質問や問い合わせはメールまたはClassroomのコメントで随時受け付ける。							
評価基準	積極的に授業に参加し、授業の内容をよく理解し、授業内で実施する小テストや学習到達度確認テストにおいて、それを適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」とする。内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、欠席が著しく多い場合や課題未提出など評価不能の場合は「F」とする。							

授業 科目名	【G】	特殊講義（行政学Ⅰ）	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	専門講義（行政学Ⅰ）	その他参照		【H】3		【H】2
	【I】	専門講義（行政学Ⅰ）			【I】3		【I】2
授業回数	授業内容						
1	オリエンテーション・「行政学」を学ぶ意義 予習： 行政に関する自分なりのイメージを作る(60分) 復習： 「行政学」という学問分野の特色を他分野と比較考察する(120分)						
2	行政国家と行政 予習： 日常生活においてどのように行政と関係しているか考える(60分) 復習： 現代国家における行政の在り方について理解を深める(120分)						
3	「政治」と「行政」の関係 予習： 政府の活動に関する報道を収集する(60分) 復習： 「行政」、「政府」の役割について理解を深める(120分)						
4	行政学の歴史 予習： 19世紀～20世紀前半の世界史を復習する(60分) 復習： 「行政学」の歴史について理解を深める(120分)						
5	官僚制の理論 予習： 官僚制という言葉がどのように使われているかを調べる(60分) 復習： 現代における官僚制の意義について理解を深める(120分)						
6	公務員制度と人事システム 予習： わが国の公務員制度について調べる(60分) 復習： わが国の公務員制度の特徴などについて理解を深める(120分)						
7	行政における組織 予習： わが国の行政組織について調べる(60分) 復習： わが国の行政組織について理解を深める(120分)						
8	予算と財政 予習： 政府の予算などの報道(情報)を収集する(60分) 復習： わが国の財政の問題点について理解を深める(120分)						
9	政策決定過程 予習： 政府の政策決定過程について情報を収集する(60分) 復習： わが国における政策決定過程について理解を深める(120分)						
10	政策の実施と評価 予習： 政府の政策評価について情報を収集する(60分) 復習： わが国の政策評価について理解を深める(120分)						
11	行政改革 予習： 行政改革について情報を収集する(60分) 復習： 行政改革について理解を深める(120分)						
12	新たな公共の担い手 予習： NPOやボランティアについて情報を収集する(60分) 復習： 「新しい公共」について理解を深める(120分)						
13	行政活動の実際(1)福祉行政 予習： 行政活動における「福祉」について調べる(60分) 復習： わが国の福祉行政について理解を深める(120分)						
14	行政活動の実際(2)教育行政 予習： わが国の教育制度について調べる(60分) 復習： わが国の教育行政について理解を深める(120分)						
15	講義の全体まとめ 行政の今後の課題と学習到達度確認テスト 予習： わが国の行政の課題について考察する(60分) 復習： 国の行政に対して自らは何ができるか考察する(120分)						
その他	予習： 事前に配布する講義レジュメ（PDF版）の該当範囲を読んでおくこと。 復習： 授業内容の復習を行いながら、自らの学習ノートを作成すること。						